

剣道競技 試合要項 (案)

埼玉県中体連剣道専門部 競技部

1. 試合について

- ・全日本剣道連盟（以下、全剣連）試合、審判規則同細則、全剣連「主催試合実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」、並びに埼玉県中体連剣道専門部（以下、中体連）申し合わせ事項に則る。
- ・団体戦は試合時間3分3本勝負。勝負の決しない場合は引き分け。
- ・試合者は鍔迫り合いを避ける。やむを得ず鍔迫り合いとなった場合、すぐに分かれるか引き技を出し、掛け声を出さない（引き技時の発声は認める）。審判員は鍔迫り合いを解消しない場合、ただちに「分かれ」を宣告する。
- ・団体戦における代表戦は3分1本勝負。勝負の決しない場合の延長は、3分で時間を区切り、選手の体調や給水の意思を確認する。給水等が必要であると判断された場合、水分補給等小休止（3分程度）を取る。なお、給水場所については選手控え場所とし、その際顧問とのコミュニケーションは原則認めない。
- ・個人戦は試合時間3分3本勝負。勝負の決しない場合の延長は、団体戦代表戦に準ずる。

※長期の活動停止期間かつ面マスク着用での試合実施による選手の体調面を考慮し、団体戦における代表戦、個人戦の延長については、上記の形で配慮する。

2. 試合の参加について

- ・従来の参加規程を遵守する。
- ・全剣連からの指示にある「面マスク」、並びに中体連申し合わせにより、「フェイスガード」の着用を義務とし、着用できない選手の参加は認めない。面マスク及びフェイスガードの規程は特に設けませんが、一般に市販されている物や、全剣連から示された物等、競技に支障なく、かつ公正であるものを使用する。なおフェイスガードについてはマウスガードのみでの着用も可とする。
- ・大会に出場を予定している選手は2週間前から体温チェック等、体調管理を行う。当日は体調に問題がなく、かつ入館時にサーモグラフィと、赤外線式による検温チェックを通過した選手（生徒）のみ、大会に参加できるものとする。
- ・出場校の顧問は選手、生徒の『健康観察票』を受付時に提出するものとし、未提出及び内容に不備がある学校、選手の出場を認めない。

3. その他

- ・館内では原則マスクを着用する。
- ・試合会場内での集合やミーティングは行わない。行う際は、会場外でフィジカルディスタンス（1m以上離れる）に配慮した形で行う。
- ・保護者の観戦は御遠慮いただく。（引率の場合は、会場の外で待機）保護者引率の場合、監督は当該地区の専門委員長が代行する。
- ・生徒競技役員は3～5名とする。（計時／タイマー旗1名、掲示2名。休憩等、必要に応じて交代）
- ・各試合場の役員席には、「審判主任・試合場主任・計時／タイマー旗生徒・会場主任」の4名が着く。
- ・入館入口や各会場に消毒は用意するが、各校でも可能な限り準備する。
- ・「試合場数を限定する」「選手の待機場所は、各主審の両手側にそれぞれ設置する」等、できる限りの「密」対策を図る。また、今大会では「外部指導者席は設けない。」よって外部指導者は会場内に入ることはできない。
- ・会場内に観客席がある場合、1席ごとに「使用禁止」等の紙を置き、1席空けて座る等、観客席での「密」についても解消を図る。その際、その紙が置いてあるところ（観客間）に荷物を置いて良いこととする。
- ・その他、「参加の皆さまへのお願い」（別紙）にある内容に協力していただく。